

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年2月10日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	下関市	代表者名	下関市長 前田 晋太郎
担当者部署	総合政策部情報政策課	連絡先電話番号	083-231-1452
担当者役職		担当者氏名	
住所	750-8521 山口県下関市南部町1番1号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	講演内容が、地方自治体の課題に対して的確に問題提起するものだった。職員の反応、アンケート結果等を見ても、素晴らしい内容だったという声が多く、職員への意識付け、啓発を行いたいという今回の目的を十分に達成するものであったため。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年2月7日	9時30分	15時00分	60	270
3-2. 派遣場所	会場名	下関市勤労福祉会館		最寄駅	下関駅
	所在地	山口県下関市幸町8-16			
	最寄駅からの交通手段	路線バスまたはタクシー			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市役所職員	66人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	AIやIoT等の情報通信技術(ICT)を活用・導入した事業を計画する課が非常に少ない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	令和元年度中に、関係各課の職員に事業へのICT活用に関する知見を得てもらうことを目標とする。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	職員数減少・業務多様化の時代において、ICT技術を活用した業務改善や施策立案がいかに必要かという論点で講演をしていただいた。また、活用事例についても多種多様の例をお示しいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	参加職員は現状に問題意識を持ち、意識を大きく変えることができたと思う。職員への啓発という目的は十分に達成された。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 危機意識を持った、多くの職員に聞かせたいという回答が多かった。また、事例紹介も参考になったという回答もあった。総じて、啓発という今回の目的は達成されたと考えている。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	今後、具体的に業務をどのようにICTを活用していくかについては、全庁的な取り組みとして検討していきたい。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

